



大切にしたい  
「安田らしさ」って？

みんなにとって  
幸せなルールとは？

未来を描く！ 創る！  
イノベティブな  
生徒たち

第1回

# 伝統を胸に、よりよい学校をつくるため、 生徒主体で校則を見直す

<sup>み ゆ</sup>田中心結さん・高校3年生 (左) / <sup>な つき</sup>花本奈月さん・高校3年生 (右)

広島県・私立安田女子中学高校

**広** 島県・私立安田女子中学高校は、礼儀作法やマナー指導が行き届いた伝統校として知られ、在校生もそれを誇りとしてきた。しかし、時代の変化の中で、校則の見直しを検討する必要性を同校の教師も感じ始めていた。19年12月、同校は経済産業省「未来の教室」の実証事業で、認定NPO法人カタリバが企画した「ルールメイカー育成プロジェクト」のモデル校に選定された。教師や保護者と対話を重ね、校則を見直していくプロジェクトを通じて、生徒に問題発見・解決力が育まれることを期待し、プロジェクトへの参画を決めたのだ。

プロジェクトのメンバーに名乗りを上げたのは、中学1年生から高校2年生までの20人。プロジェクトリーダーの1人である田中心結さんの参加理由は、「みんなが幸せになる校則」をつくりたかったからだ。

「中学校で生徒会役員を務めた際、友人に『この校則はなぜ必要なの？』と聞かれても、理由をきちんと説明できず、悔しい思いをしたことがあります。校則に不満をぶつけるのではなく、各校則の存在意義を

先生がご存知の「イノベティブな生徒たち」をご推薦ください！

具体的なご推薦方法は、VIEWnext 公式LINEを通じて7月下旬にお伝えいたします。

※VIEWnext 公式LINEが未登録の方は、右の2次元コードを読み取っていただくか、

LINEアプリの「友だち追加」>「ID検索」で「@view21」とご入力いただき、友だち追加をお願いいたします。



## 教師たち



広島県・私立  
安田女子中学高校  
副校長  
安田 馨かおる

### 事象の背景を考え抜き、 社会をつくる当事者になる

校則の見直しを通じて、生徒には社会をつくる当事者としての力を身につけてほしいと考え、今回のプロジェクトへの参画を決めました。活動の主体は生徒でしたが、話し合いの場には私もできるだけ同席するようにし、生徒の視野を広げることができました。生徒たちは素直だからこそ、1つの考え方にとらわれてしまうことがあります。そうした時は、「こんな意見を言っている人もいるよ」「こんな調査結果があるよ」と、見方や考え方を広げられるよう支援しました。校則の改定以上に生徒にとって価値があったのは、「大切にすべき安田らしさ」への気づきと、「行動指針」の策定という、校則の見直しから生まれた自発的な動きだったかもしれません。校則の見直しという事象の背景を考え抜き、関係する皆にとっての幸せを追求した結果、学校という社会の中での当事者になれたのです。

#### 学校プロフィール

**設立** 1915（大正4）年  
**形態** 全日制／普通科／女子校  
**生徒数** 1学年約260人  
**2021年度入試合格実績（現浪計）**  
国公立大は、金沢大、鳥取大、広島大、山口大、高知大、県立広島大、広島市立大などに54人が合格。私立大は、津田塾大、明治大、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大、神戸女子大、安田女子大などに延べ392人が合格。

考え、高校生活をよりよいものにする安田らしい校則をつくりたいと考えました」（田中さん）

メンバーは、生徒や教師、保護者の意見を集めるとともに、弁護士からルールのあり方を学んだり、警察関係者から非行や犯罪の現状を聞いたりすることで視野を広げながら、校則を見直す上で必要な知見を得た。集まった意見を基に検討対象の校則の優先順位づけを行った結果、「情報端末機器（スマートフォン）の持ち込み」「放課後の立ち寄り」（「カラオケ、ゲームセンターなど）保護者同伴でないと許可されていない場所への生徒だけの出入り」の3つの校則の見直しを進めることに

した。

メンバーだけで見直しを進めるのではなく、学校にかかわる様々な人の意見に耳を傾けることを意識したと、プロジェクトリーダーの1人である花本奈月さんは振り返る。

「廊下の壁に貼った模造紙に、3つの校則に対する意見を自由に書いてもらったり、シールを使ってあるテーマに対して賛成・反対を気軽に表明してもらったり、校内の声をより広く集める工夫をしました。また、生徒指導担当の先生に、校則が変わったらどうなると思うか、聞きに行きました。きっと先生は校則の見直しは不要だとおっしゃるのだろうと思っていたのですが、実際に話

をしてみると、『生徒が自分を律して、スマートフォンを適切に活用できるようになった方がよい』と、予想外の言葉が返ってきて、驚きました」（花本さん）

20年12月、メンバーは3つの校則について見直した新ルールを学校に提案。学校との対話を重ねて校則が改定され、21年4月からは新しい校則が施行されている。さらに、メンバー発案で「行動指針」を策定し、校則に込めた思いを知ってもらおうとともに、安田女子中学校の生徒として変わらぬ大切にしたいことを全校生徒に伝えた（図）。

今、クラスや部活動などで、「話しかってルールメイキングしよう」

と、口にする生徒が増えたと花本さんは言う。彼女らは、校則の見直しを通じて、自分たちの環境をよりよくしていく力を身につけたのだ。

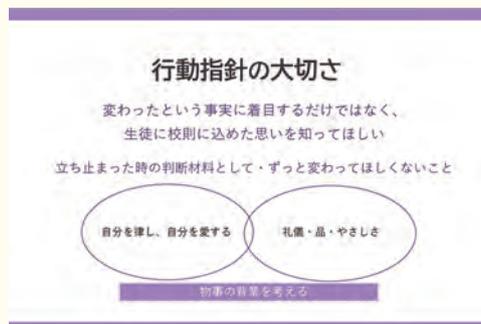


図 プロジェクトメンバーの発案で策定した「行動指針」。校則が変わった事実以上に、校則に込めた思いを受け止めてほしいという思いから策定に至った。